

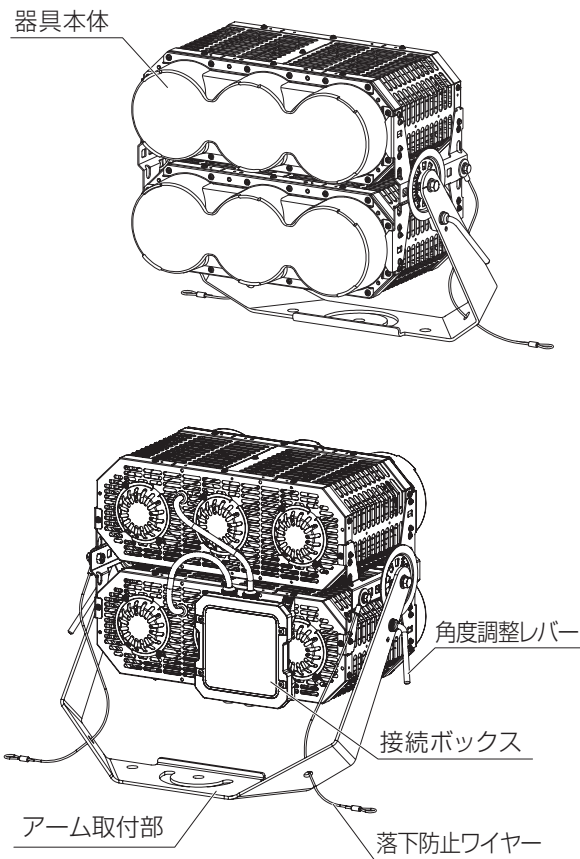




## 各部の名称

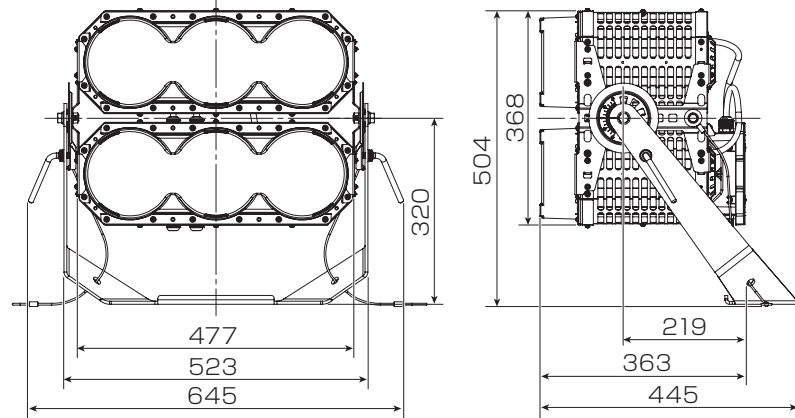
- 取り付け前に下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。
- 部品が不足している場合は、お買い上げ店またはサポートコールまでご連絡ください。

### 器具 〈図はFV1000／FV800タイプの例〉

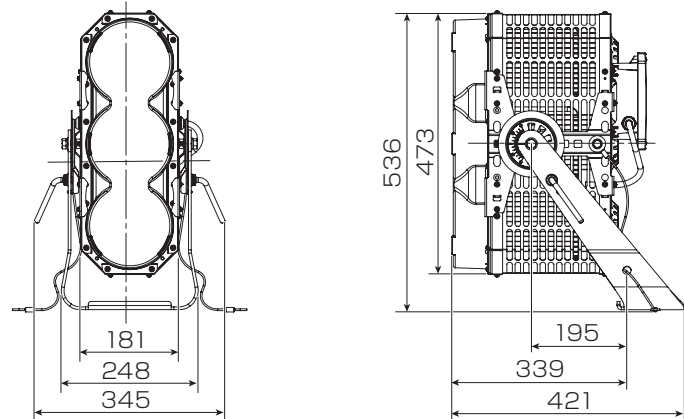


### FV1000／FV800タイプ

単位:mm

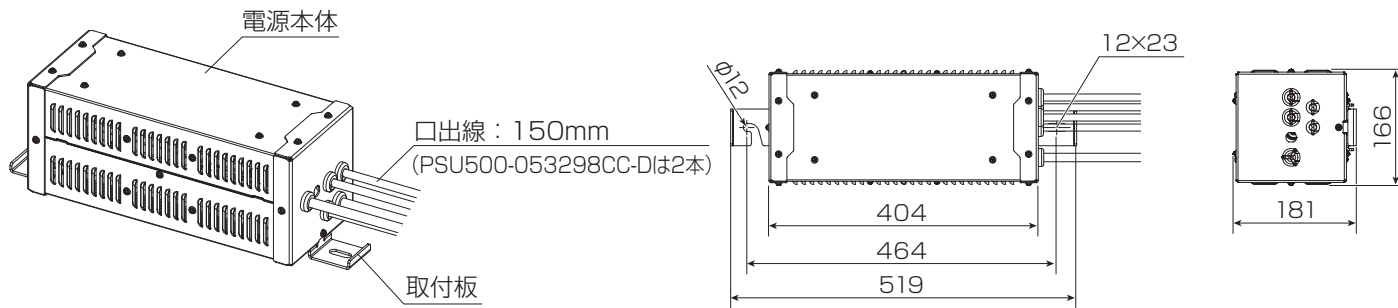


### FV500タイプ



### 専用電源ユニット 〈図はPSU1000-053596CC-D／PSU800-053348CC-Dの例〉

単位:mm



## 仕 様

品番構成 凡例 F V 1000 - 56800 - MW - D

品名	消費電力		色温度 (演色性)	1／10 ビーム角	質量	専用電源ユニット
FV	1000:991W	—	56800:5600K (Ra85)	N:30°	器具:17.1kg 電源:9.6kg	PSU1000-053596CC-D
	800:796W		50800:5000K (Ra85)	MN:40°		PSU800-053488CC-D
	500:495W		50700:5000K (Ra75)	M:45°	器具:10.5kg 電源:6.0kg	PSU500-053298CC-D
				MW:54°		
				W:75°		

- 使用電源：定格電圧AC200-242V、定格周波数 50／60Hz ●使用温度範囲：-20℃～+35℃
- LEDモジュール設計寿命：40,000時間 ●防塵防水性能：IP55 ●調光：PWM制御方式
- ※LEDモジュール設計寿命は、LEDが点灯しなくなるか、初期光束の85%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
- 製品の寿命を保証するものではありません。
- ※本施工説明書と併せ、製品本体の表示および技術資料（仕様書など）をご確認ください。
- ※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

## 取り付けかた

- 部品は正確に取り付けてください。

### 1

#### 器具を取り付ける

- ※器具の取付時は、手袋などの保護具を使用してください。けがの原因となります。
- ※取付ボルト／ナット／座金類は別途準備してください。

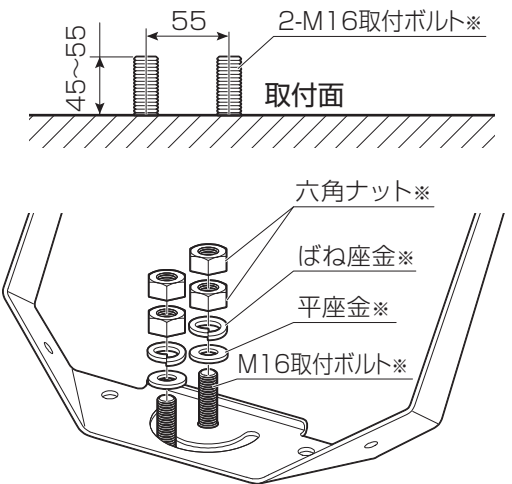
##### ①取付ボルトを設置する

器具質量および風圧荷重に耐えられる取付面に、右図の間隔で取付ボルト（M16）を2本設置してください。

##### ②器具を取り付ける

設置した2本の取付ボルトにアームの穴を通して、平座金・ばね座金・六角ナットを使用しダブルナットにて確実に締め付けてください。  
（推奨トルクM16：100～120 N・m）

※灯具は水平面据置き取付専用です。  
指定外方向に取り付けると落下・感電・火災の原因になります。



#### 警告

締め付けに不備があると、器具脱落や落下により、事故の原因になります。

### 2

#### 落下防止ワイヤーを取り付ける

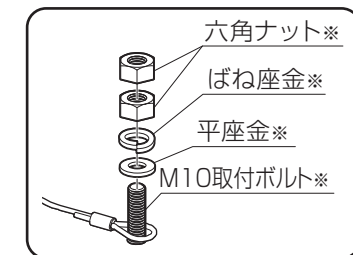
##### ①取付ボルトを設置する

器具質量および風圧荷重に耐えられる取付面に、取付ボルト（M10）を2本設置してください。

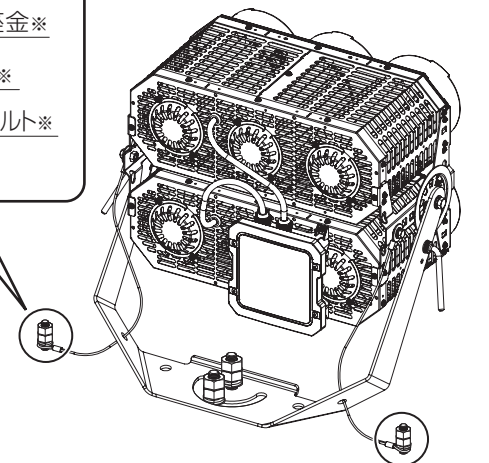
##### ②落下防止ワイヤーを取り付ける

・設置した2本の取付ボルトにワイヤーの穴を通して、平座金、ばね座金、六角ナットを使用しダブルナットにて確実に締め付けてください。  
（推奨締め付トルクM10：24.5 N・m）

・器具を取り付けた状態で、落下防止ワイヤーがたるまないように施工してください。



※イラストはFV1000／FV800タイプの例



#### 警告

締め付けに不備があると、器具脱落や落下により、事故の原因になります。

### 3

#### 電源ユニットを取り付ける

##### ①取付ボルトを設置する

電源ユニット質量および風圧荷重に耐えられる取付面に、右図の間隔で取付ボルト（M10）を2本設置してください。

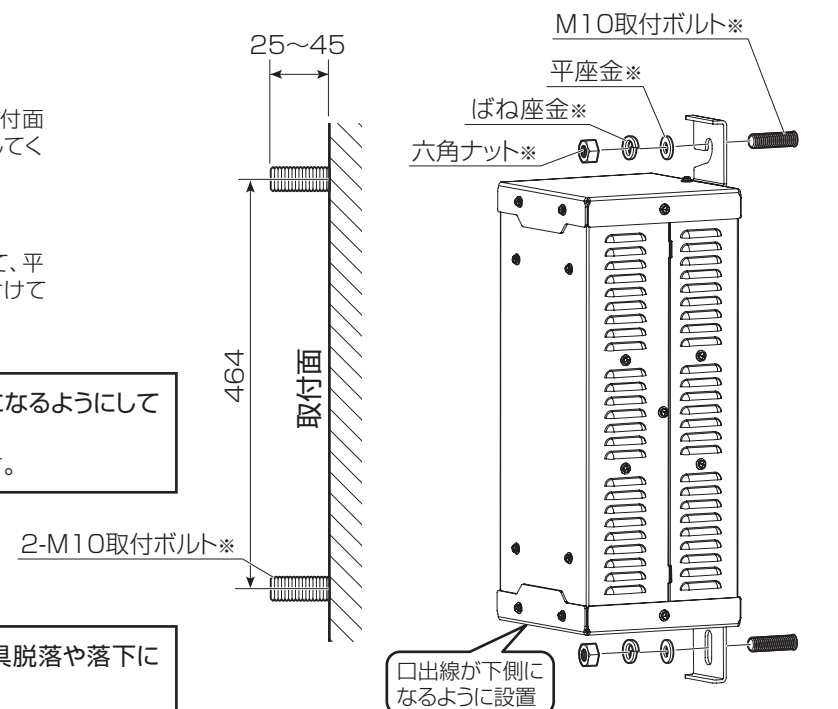
##### ②電源ユニットを取り付ける

設置した2本の取付ボルトに取付板の穴を通して、平座金、ばね座金、六角ナットを使用し確実に締め付けてください。  
（推奨締め付トルクM10：24.5N・m）



#### 警告

電源ユニットは口出線が下側になるようにして設置する  
浸水による感電の原因になります。



#### 警告

締め付けに不備があると、器具脱落や落下により、事故の原因になります。

## 接続線を接続する

※器具の取付時は、手袋などの保護具を使用してください。けがの原因となります。  
※取付ボルト/ナット/座金類は別途準備してください。

※イラストはFV1000/FV800タイプの例

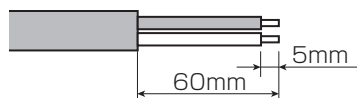
### ①接続ボックスカバーを取り外す

接続ボックスカバー固定用ネジ4箇所をゆるめ、接続ボックスカバーを取り外してください。

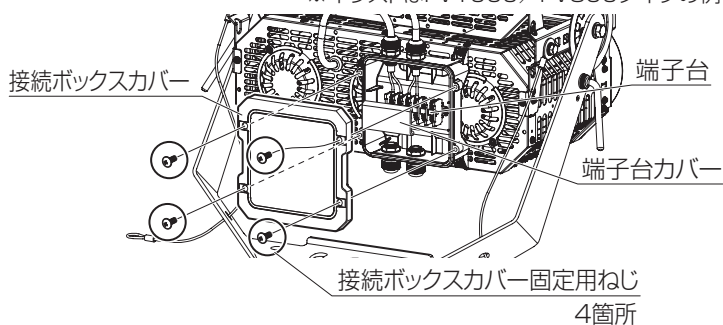
### ②端子台カバーを取り外す

### ③接続線(別途)の先端の外被覆を剥く

〈接続線〉  
適合ケーブル：Φ10.5～Φ12.5  
(2.0mm、2芯線)



〈用意する接続線の本数〉  
FV1000/FV800タイプ：2本  
FV500タイプ：1本

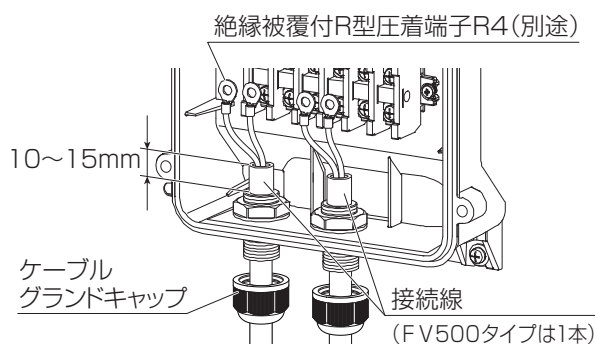


### ④接続線に圧着端子を取り付ける

接続線の先端に、絶縁被覆付R型圧着端子R4(別途)を取り付けてください。

### ⑤ケーブルグラウンドのキャップを取り外す

- ・外したキャップに接続線を通してください。
- ・ケーブルグラウンド内部のゴムパッキンは取り外さないでください。



### 警告

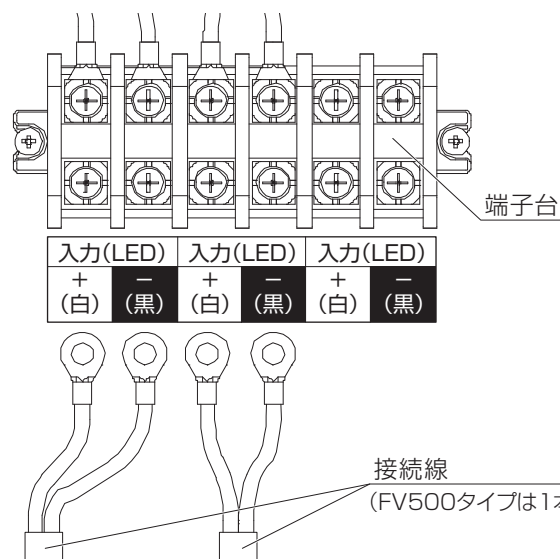
不備があると、浸水による感電の原因になります。

### ⑥接続ボックス内に接続線を引き込む

接続線の外被覆を10～15mm入れてください。

### ⑦接続線を端子台に接続する

(推奨トルク：1.5 N・m)



### 警告

接続が不完全な場合、火災、感電の原因になります。

### ⑧端子台に端子台カバーを取り付ける



### 警告

不備があると、感電の原因になります。

### ⑨ケーブルグラウンドのキャップを締め付けて固定する

(推奨トルク：3.0 N・m)



### 警告

締め付けが不完全な場合は、浸水による感電の原因になります。

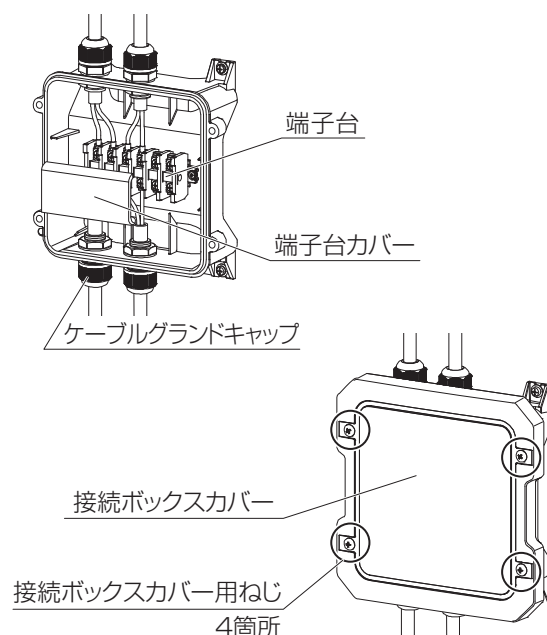
### ⑩接続ボックスカバーを取りつける

接続ボックスカバーを合わせ、カバー固定用ねじ4箇所を確実に締め付けて固定してください。浸水による感電の原因となります。  
(推奨締め付トルク：1.5 N・m)



### 警告

取り付けが不完全な場合は、浸水による感電の原因になります。



## 電源線・アース線・調光線を接続する

※器具の取付時は、手袋などの保護具を使用してください。けがの原因となります。  
※取付ボルト／ナット／座金類は別途準備してください。

- ①電源設備の技術基準省令第7条にしたがい、器具口出線の白線・黒線を電源線に接続する。

**警告**

接続が不完全な場合、発熱・感電・火災の原因になります。

- ②器具口出線のアース線を使用して、第三種接地工事を確実に行う。

**警告**

アース工事は電気設備の技術基準にしたがい、確実に行ってください。不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

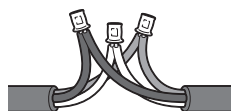
- ③シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行う。  
その後、絶縁テープなどでシースと各端子の絶縁処理を行う。

**警告**

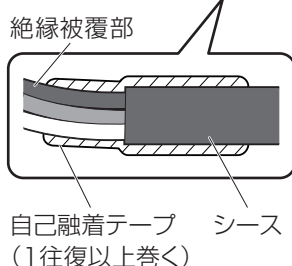
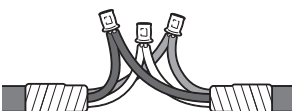
接続部、シース部に直接水がかかると、水分が毛細管現象により器具内部に侵入するおそれがあります。

- ④各端末を絶縁した後、電源線及び器具口出線のシース(外被)の部分から絶縁処理し、防水性のあるボックスに入れるなどの防水処理を確実にを行う。

- ①② 端子を圧着する

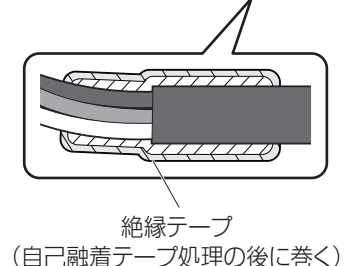
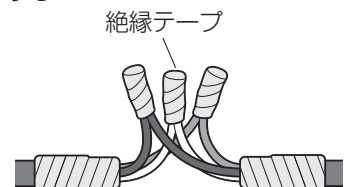


- ③-1 ケーブルとシースを  
防水処理する



自己融着テープ シース  
(1往復以上巻く)

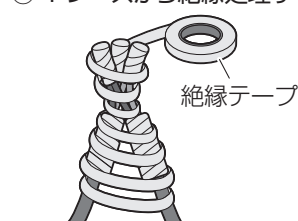
- ③-2 ケーブルと端子を絶縁処理  
する



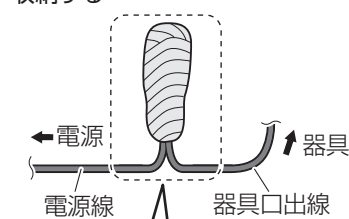
※絶縁処理には、絶縁  
テープなどを使用し  
てください。



- ④-1 シースから絶縁処理する



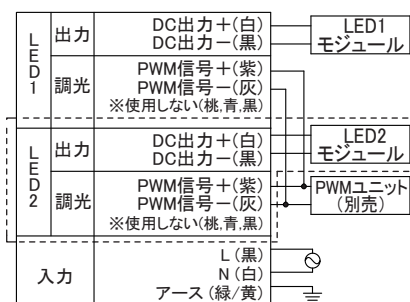
- ④-2 防水性のあるボックスなどに  
収納する



防水性のあるボックスやアーム管内  
など、水のかからないものに収納。

## ■配線図(FV1000/FV800タイプの場合)

※FV500タイプは[ ]の部分が無い配線図になります。



■管灯回路長さ: 50m以下

**警告**

結線後、絶縁・防水処理を確実に行ってください。処理が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因になります。

## 照射角度を調整する

※器具の取付時は、手袋などの保護具を使用してください。けがの原因となります。  
※取付ボルト／ナット／座金類は別途準備してください。

- ①アームの回転角度調整方法

六角ナットをゆるめ、角度を合わせたあと、六角ナットをダブルナットにて確実に締め付けて固定してください。  
(推奨トルクM16: 100 ~ 120 N・m)

**警告**

不備があると、浸水による感電の原因となります。

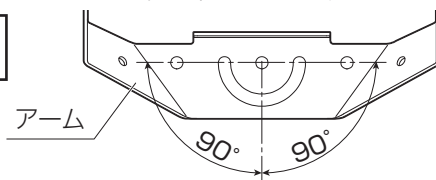
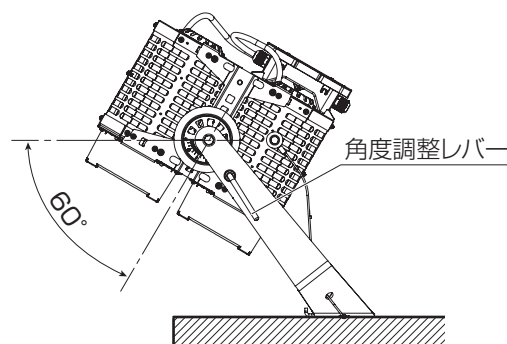
- ②器具の回転角度調整方法

・角度調整レバーをゆるめ、角度調整板の角度に合わせたあと、レバーを確実に締め付けて固定してください。  
(推奨締め付トルクM10: 24.5 N・m)

**警告**

下記の角度調整範囲を守る

角度調整範囲: 水平~下向60°  
指定外で取り付けた場合、火災の原因になります。

アームの回転  
角度調整器具の回転  
角度調整

※イラストはFV1000/FV800タイプの例